

いらたに むなかたじんじや  
櫟谷・宗像神社

御祭神

櫟谷神社 奥津島姫命（おきつしまひめのみこと）  
宗像神社 市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）

この二柱の神様は、福岡県の宗像大社（世界遺産）の御祭神で、古くから海の神・水の神として、水上交通安全の神として崇敬されており、当地には天智天皇の七年（六六八）に大堰川（桂川）の水運の安全を祈って勧請されたものと伝えられています。

現在は一緒の御本殿でお祀りされていますが、室町時代の絵図によりますと昔は別々のお社でお祀りされていました。

櫟谷神社は嘉祥元年（八四八）に従五位下、貞観十年（八六八）には正五位下の神階を授けられた延喜式内社であります。

宗像神社は、平安時代に葛野鑄銭所（造幣局）で鑄造された新鑄銭を奉納されていた由緒ある神社です。

市杵島姫命が七福神の弁財天と同一とされたことから、嵐山弁天社とも呼ばれ福德財宝の神として、また水難除けの神として崇敬を集めてまいりました。

古くから松尾大社の末社として松尾大社の社家が祭祀を行っており、明治十年以降は松尾大社の境外摂社となり現在に至っております。